

例会は七月は第三日旺
です(七月十八日)
定期的にこれをホシイ
方は切手代のカンペを!!

京都における

共同体の準備会結成!

「解放の家」(仮称)とかいうものを作ろうとウロケョロして
いるグループへ入りますか?!

共同体とは何か? それが判らないから集つてゐるんです。共同体とは相互扶助の社会とか、自主管理の社会とか、直接民主制による完全合議制の社会とか、万人平等の社会とか、なんかかかんとかいわれてもさっぱりなので集つてゐるんです。今までも、ヤマギシ会や心境農産や、キブツ協会やコミュニカブルが試行しています。そこで私たちも白い京都に私達の力で私たちのつむいで、共同体 コミュニズムのまねごとみたいなものを「解放の家」を作ろうとしています。

共同体といつても、一つの釜のめしを喰つて畑で大根を作つてというよ様な修道院みたいな閉ざされた共同体を考へてゐるのではなく、その活動とその思想性を現社会に全面的にぶつけてやこうと現存ウハウハしています。

というわけで「解放の家」は解放されたい淋しい奴が集る所というより、社会を解放しようとする者が、思想的な行動的な実践をしに集る所としてあります。だから私達は、あなたを「解放の家」にお招きしたいのです。

前回六月十三日に京大クマノ寮に貧乏学生、おもちゃろい女の子もつかつていない商人、疎外された医者、売れない芸術家が談話室いっぱい集つて、具体的な準備にたりかかりました。「解放の家」のための一時金を出すのどくな者、維持金をしぼりだす者、家をさがす者、ガリキラー、など決まりました。維持金は充分なようですが一時金はどうも……、家一軒が四〇万も五〇万も出さねば借りられないなんていやな渡世だなァー。

私たちは「解放の家」をたんの真中やペン草に囲まれた所ではなくて、市電の音が聞えるくらいの所に無理して作ろうとしています。なぜなら「解放の家」は学園と近代企業と変な仲になりたいと切実にその小さな胸を痛めているからです。「解放の家」は林しがりのやなめて近代的なミニカ、ホットパンツの娘さんや、油まみれの機械工の好青年や、パンと水のみによって生きる学生さんに歩いて来てほしいと願っています。次の回も、又みんなが共同体のイメージについて好勝きに出し合い、資料をもち合い、研究し討論します。他のどんなソシキにもグループにも属することなく、ヨクヨクと一歩を踏みだしました。あなたがどんな危険な思想をもとうと、どんなあやしいグループに属せうと、どんないやしい野心をもとうと、共同体とくされ縁を作りたいたあなた個人を歓迎します。次の回に

連絡先

京都市左京区銀閣寺町八四

大前方

足立 誠

わたしの共同体観 アンケートより

現在のところ非常に混乱してきてまとまった考え方はありません。大学の理学部に入り、科学を志向していたのが、大学斗争を経験してバラバラになった感じ。斗争後三年近く、なにもせず、居すわつてゐるわけですが、「コミュニズム」の復讐心をひかれてゐます。士をいじつたこともなく、「土に親しむ」なんてふん田舎にひかれてゐるのだから、コミュニズムなんでものじやありません。つい数ヶ月前まではもう少し勢がよかつたのですが……。

共同体観については今いったように、混乱してゐます。農業生産を中心にするのか、都市の中で工業生産を中心とするのか(もちろん両方が必要なのだけれど)僕としてどちらを向くのかまよつてゐます。今まで都市のことしか考へていなかつたのですが、言葉だけでなにもやつていなかつたので、ぜひ現場に行つてみたいと思つてゐます。

学生 H・T

2人のエレジー

妊娠したと聞いた時何を考へたか、どういふことを感じたか。俺は責任をのがれたかつた、中絶したらしいと思つた。それまでの2人のあいまいな関係の関係をどういふことかはっきりした。互にそんな関係であることにうんざりしてゐて、いや気がさしてゐたころにそういう大問題が起つたのだ。そのため中絶するということは関係を切るということだと思つた。責任をせつのも恐ろしかったけど、ちと熱心かなかなかつかなかつた。関係を続けることにして俺は働くことにした。性の欲求↓性の独占↓家、という過程で関係をづけて働くことになつたのだ。家を続けてゆくために働く、大変ピツタリと体制のベルトコンベアに乗つた。めでたしめでたし。せやけどあいまいでなれあいの関係はちつともかたづいてへん。しばらく幸福な結婚生活が続いたけれど、グロテスクな関係が出てきたのだ。もう文文かけんいやになつて逃げ出したくなつてゐた。そんな時新聞でヤマギシ会のこと読んで、ライヒのこと読んでヤマギシ会に注目して、半分生活から逃げ出す感じと、どうにかなるやろと思つて、どこでもいいしとにかく共同体に行きたて持講に行つた。これが共同体を考へる直接の結果となつた。俺はまた働きに出かけはじめた。最初の勤杖と同じ家庭を維持するために働いてゐるといふ事実、自分自身に人よりという意識がものすごく強い。自家の権力も社長の権力も、父親の権力も、それに反発するといふ形で権力を極しがつていた。プライドを認める威厳主義社会。

京都

共同体にまつわる集會

第三回へのいがない ヨリ

アンケート特集